



メトロール すさき
(東京都立川市) 須崎 奈津美さん(28)

モノづくりに携わりたくて専門学校でCADを勉強しました。出産を機に前の自動車シートメーカーを辞め、子どもが落ち着いてからメトロールに就職。家から近い条件で仕事を選んだので、初めは何をしている会社かも知りませんでした。入社してから勉強して、私が携わったスイッチは工作機械やエレベーターなど、いろんな分野に使われています。展示会でスイッチが装置に組み込まれているのを見つけるとうれしいです。会場では宝探しをしている気分になります。

動きを覚えると設計に生き

ます。私はCADを描くテクニック、早さや正確さは社内で一番だと自信はあるのですが、スイッチのノウハウを設計に落とし込むのが増えると気づきも多くなります。

来年入社する新入社員のためにCADを描くときのマニュアルも作っています。新人さんの教科書になりますので責任は重いです。

「CADのことなら須崎に聞け」と、頼られる存在になりたいのですが、私自身はあれもこれもできるようになるとガツガツしているタイプではないです。でも負けず嫌いだしマイペースです。矛盾しますね。

(おわり)

現場女子

53

入社5年目でCADトレーナーをしています。当社では工作機械などで使われる精密スイッチを作つておる、その中でも特注品の設計図を起こす作業を担当しています。図面は毎回違つていて、一度きりの仕事ばかりです。

CADのテクニックに自信

かりです。もともと当社では700種類のスイッチを作っていますが、お客さんの装置に合わせて設計図を起こして、一つひとつ組み

上げていきます。スイッチの部品になると7000点もあります。入社直後は品番を覚えるだけで大変でしたね。

てきます。私はCADを描くテクニック、早さや正確さは社内で一番だと自信はあるのですが、スイッチのノウハウを設計に落とし込